

令和3年度Sport in Life推進プロジェクト  
(ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業)

## コミュスポclubプロジェクト

令和4年2月18日

社会福祉法人信和会



**Sport in Life**

# 令和3年度 Sport in Life推進プロジェクト (ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業) 事業報告概要

代表団体

社会福祉法人信和会

事業タイトル

コミュスポclubプロジェクト

構成団体 **ローヴァーズ株式会社、株式会社ルネサンス**

対象テーマ 子供 ビジネスパーソン 女性

実証フィールド  
(地域) 茂原市、長南町、長柄町

## 事業内容サマリ

スポーツ人口を増やすとともに、人々が安心して楽しく集える  
第三の居場所づくりを行い、地域コミュニティの強化を図る。

## ターゲット

### ●本増加方策のターゲット

- ・子育て世代
- ・高齢者およびその家族

### ●ターゲットのスポーツ実施を促すポイント (仮説)

#### ▶孤立化と地域のつながりの希薄化

核家族化により、日常から近隣とのつながりが薄く、孤立しがちである。さらに、昨今のコロナ禍による外出自粛で交流の機会が著しく減少。

#### ▶運動機会の減少

昨今のコロナ禍による外出自粛により、親子とも身体活動量が著しく低下し、心身両面の課題が発生。

#### ▶気軽に立ち寄り相談・交流・リフレッシュ気分転換できる場の不足

地域内にコミュニティの場や機会が不足しており、上記「孤立化と地域のつながりの希薄化」「運動機会の現象」等の課題支援が困難。

## 事業の実施概要

### ▶つながりのきっかけとなる多世代交流イベントの定期開催

コミュニケーションスポーツや、防災運動遊びをテーマに、多世代が体を動かしながら楽しく交流する機会づくりを実施。

### ▶日常生活の中でも継続的で手軽にできる運動プログラムの提供

世代や生活スタイルに合わせて選択できるプログラムを提供

### ▶コミュスポClub拠点・サポート窓口の設置

ローヴァーズスポーツパーク茂原に地域拠点の窓口を設定し、気軽にこられる地域コミュニティの場を構築

## コミュスポってなんだろう？

日常生活でつながることが無かった多世代がスポーツでつながる。



スポーツで培った体力と判断力が自分(家族)を守り、  
スポーツでつながった心が地域を支える。

事業の実施内容

『スポーツ×福祉の融合による地域住民の第3の居場所づくり』

1 子どもから高齢者までが一緒に楽しめる多世代交流イベントの実施

福祉施設のサービス付き高齢者向け住宅「ファミリークラブあかね雲」と併設しているフットサルコート「ローヴァーズスポーツパーク茂原」にて日常から多世代が集い楽しく防災について学びスポーツに取り組むスタートとなる多世代交流イベントを毎月開催し、地域の拠点化を図る。

実施日：2021年11月21日（日）・2021年12月18日（土）・2022年1月8日（土）



走ってはいけない「ウォーキングフットボール」



水難救助を想定した防災運動あそび



簡易担架を利用した防災運動あそび

事業の実施内容

『スポーツ×福祉の融合による地域住民の第3の居場所づくり』

2 日常生活の中でも継続的で手軽にできる運動プログラムの提供

親子や高齢者が災害時に生かせる知識と技術を含み、かつ普段使い出来るエクササイズプログラムをオンライン型で配信する。また週に1回オープンスペースで同じプログラムを受講出来る機会を提供する。 期間：2021年11月1日～2022年1月31日  
 ※コロナ禍によりオープンスペースでの対面受講は中止となりました。

①R3.11.1配信



②R3.11.8配信



③R3.11.15配信



④R3.11.22配信



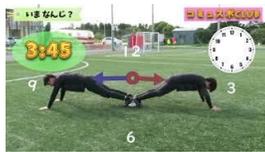
⑤R3.12.6配信



⑥R3.12.13配信



⑦R3.12.20配信



⑧R3.12.27配信



⑨R4.1.10配信



⑩R4.1.17配信



⑪R4.1.24配信



⑫R4.1.31配信



# 令和3年度 Sport in Life推進プロジェクト (ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業) 事業報告概要

代表団体

社会福祉法人信和会

事業タイトル

コミュスポclubプロジェクト

## 効果検証の方法と結果

Webおよび紙面により、事業実施後1月に参加者に対してアンケート調査を行い、事業以前の実態と事業後の変化について回答し頂き、比較分析する。

## 結果に基づく要因の分析 (仮説検証)

### 【高齢者】

#### ★計画書記載評価指標

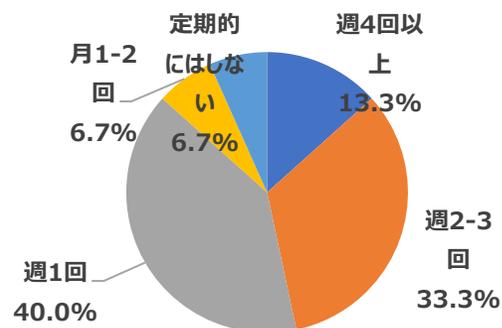
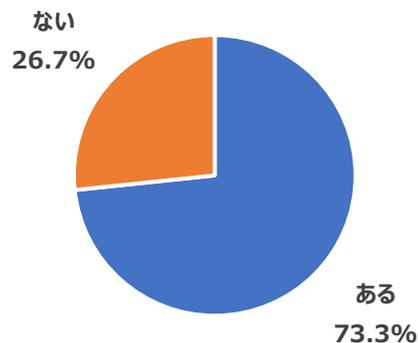
週1回以上の運動実施事前 + 10%

週1回以上の運動実施の向上として、「日頃の運動実施していなかった人」が終了後に希望する今後の運動の実施頻度を見ると、**運動を日頃実施していない人4人が、今後週1回以上実施しようと希望するものは3人と7割以上が週1回以上の実施の運動実施意欲を示しており、目標値（週1回以上の運動実施10%以上増加）を達成した。**

n=15	今後希望する頻度	
	週1回以上	週1回未満
日頃の運動実施の有 (11人/73.3%)	10人	1人
日頃の運動実施の無 (4人/26.7%)	3人	1人

【設問5】日頃の運動実施の有無 n = 15

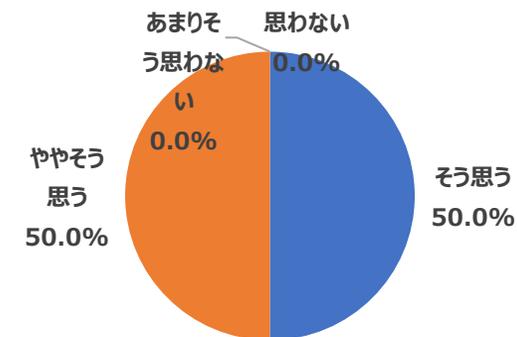
【設問11】今後の希望する実施頻度 n = 16



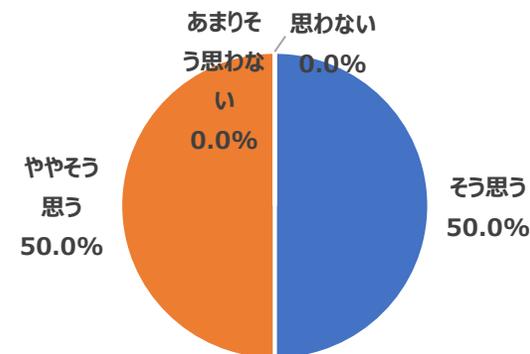
#### ★計画書記載評価指標

運動意欲の向上 + 15%

運動意欲の向上として今回のイベントに参加して、あなた自身運動・スポーツなどでカラダを動かすことに積極的に（以前より好きに）なったと思うかの設問については、「そう思う」「ややそう思う」を合わせて、**全ての人が積極的に体を動かすようになっており、運動意欲の向上目標値（+15%）を達成した**



また、今後も（は）継続的に運動・スポーツをしたいと思うかの設問については、「そう思う」「ややそう思う」を合わせて、**全ての人が継続的な積極的に体を動かすようになっており、運動意欲の向上目標値（+15%）を達成した**



#### ■その他の視点

本事業に対する良かった点として、「楽しかった」という満足度の意見に加え、「コミュニティ活動に参加できたこと」と回答した者が多く、本事業を通じて地域住民間のつながりを創出にも寄与できる内容であったと考えられる。

# 令和3年度 Sport in Life推進プロジェクト (ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業) 事業報告概要

代表団体

社会福祉法人信和会

事業タイトル

コミュスポclubプロジェクト

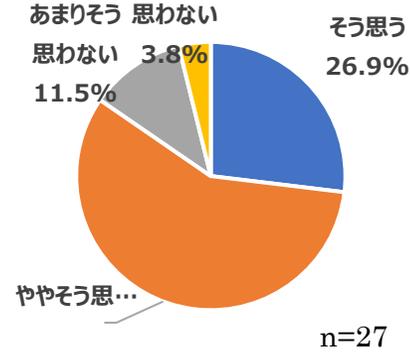
## 結果に基づく要因の分析 (仮説検証)

### 【保護者】

■ 期待されるスポーツ実施及びスポーツ実施意欲の向上効果

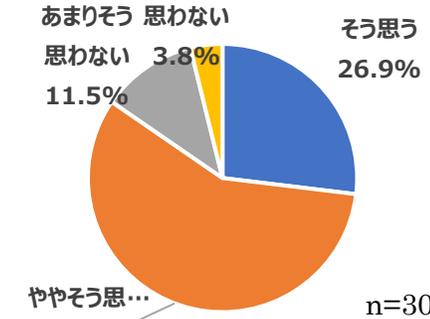
#### 【設問18】

今回のイベントに参加して、自身運動・スポーツなどでカラダを動かすことに積極的に（以前より好きに）なったと思うかの設問では、「そう思う」29.6%、「ややそう思う」が70.4%と参加者全員が、以前よりカラダを動かすことに積極的（以前より好き）になっていた。



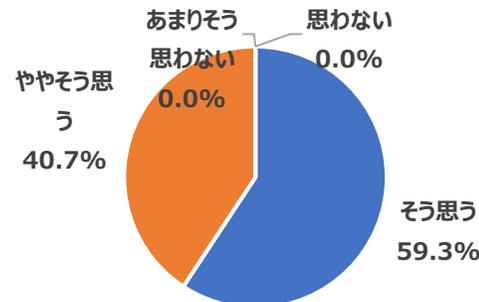
#### 【設問19】

また、実際に身運動・スポーツなどでカラダを動かす時間が増えたと思うかの設問では、「そう思う」が26.9%、「ややそう思う」が57.7%と、約8割の人が実際の活動時間も増加している結果が見られた。



#### 【設問20】

今後も（は）継続的に運動・スポーツをしたいと思うかの設問では、「そう思う」が59.3%、「ややそう思う」が40.7%と、参加者全員が、今後も継続的に運動・スポーツをしたいという意見が聞かれた。



### ★計画書記載評価指標

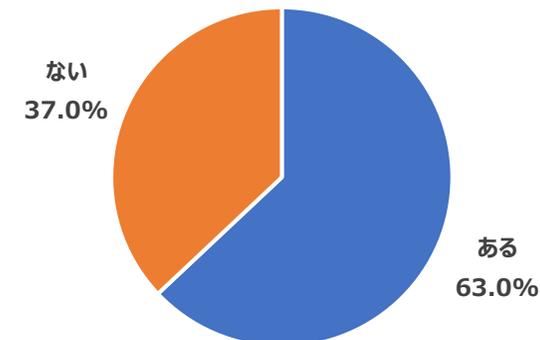
週1回以上の運動実施事前 + 10%

週1回以上の運動実施の向上として、「日頃の運動実施していなかった人」が終了後に希望する今後の運動の実施頻度を見ると、運動を日頃実施していない人10人（37.0%）が、今後週1回以上実施しようと希望するものは10人と全員が週1回以上の運動実施意欲を示しており、目標値（週1回以上の運動実施10%以上増加）を達成した。

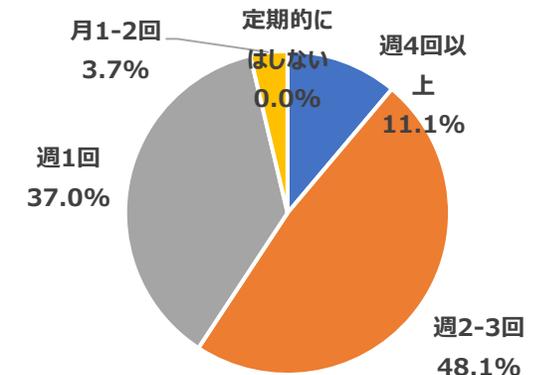
日頃の運動実施有無と今後希望する運動実施頻度（週1回以上/未滿）

n=27	今後希望する頻度	
	週1回以上	週1回未滿
日頃の運動実施の有 (17人/63.0%)	16人	1人
日頃の運動実施の無 (10人/37.0%)	10人	0人

【設問15】運動実施の有無 n = 27



【設問21】今後の希望する実施頻度



# 令和3年度 Sport in Life推進プロジェクト (ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業) 事業報告概要

代表団体

社会福祉法人信和会

事業タイトル

コミュスポclubプロジェクト

## 結果に基づく要因の分析（仮説検証）

★計画書記載評価指標

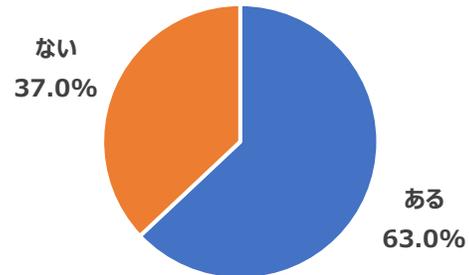
運動意欲の向上+15%

運動意欲の向上として、「日頃の運動実施していなかった人」が終了後に、「今後も（は）継続的に運動・スポーツをしたいと思うか」意向を確認すると、運動を日頃実施していない人10人（37.0%）が、今後も継続的に運動・スポーツを実施したいと希望するものは10人と全員が運動継続を希望する結果となり、目標値（運動意欲の向上15%）を達成した。

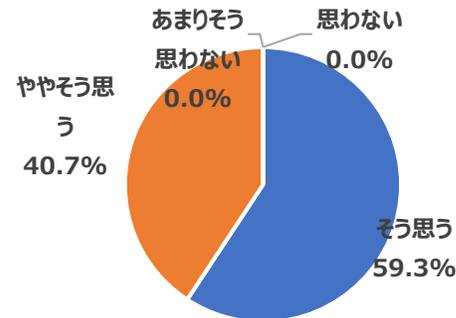
日頃の運動実施有無と今後の継続的な運動実施の希望の有無

n=27	継続的な運動実施の希望		
	そう思う	ややそう思う	未回答
日頃の運動実施の有 (17人/63.0%)	11人	4人	2人
日頃の運動実施の無 (10人/37.0%)	5人	5人	0人

【設問15】運動実施の有無 n=27



【設問20】継続的な運動実施の意向の有無



## 結果に基づく要因の分析（仮説検証）

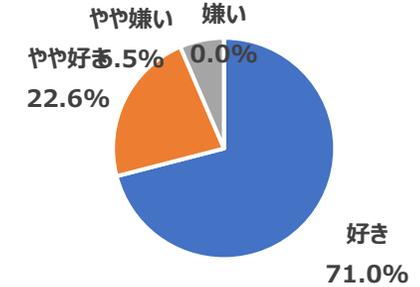
【子ども】

★計画書記載評価指標

○運動が好きである 全体 80%以上

お子さんは、運動・スポーツやカラダを動かす遊びは好きかの設問では、「好き」が71.0%、「やや好き」が22.6%と、90%以上が運動が好きと回答している。

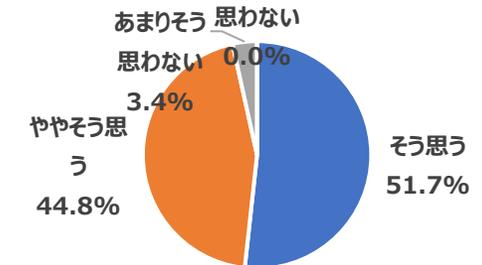
【問2】



○運動意欲の向上 +20%

今回のイベントに参加して、お子さんが運動・スポーツやカラダを動かす遊びに積極的に（以前より好きに）なったと思うかの設問では、「そう思う」が51.7%、「ややそう思う」が44.8%と、95%以上が運動・スポーツやカラダを動かす遊びに積極的に（以前より好きに）なったと回答しており、目標値（運動が好きである：全体80%以上）を達成した。

【設問6】



# 令和3年度 Sport in Life推進プロジェクト (ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業) 事業報告概要

代表団体

社会福祉法人信和会

事業タイトル

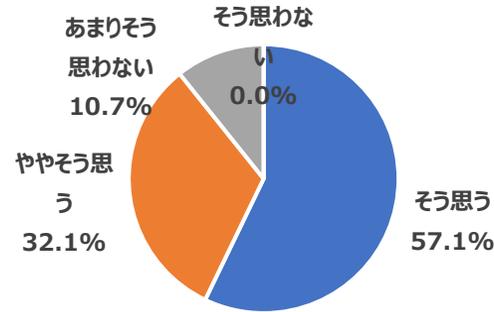
コミュスポclubプロジェクト

## 結果に基づく要因の分析（仮説検証）

### ○運動時間の増加

今回のイベントに参加して、お子さんが運動・スポーツやカラダを動かす時間が増えたと思うかの設問では、「そう思う」が57.1%、「ややそう思う」が32.1%と、保護者と同様子どもも約8割が実際の活動時間が増加している結果が見られた。

【設問7】



### ■その他の視点

本事業に対する良かった点として、「コミュニティ活動に参加できたこと」と回答した者が最も多く、本事業を通じて地域住民間のつながりを創出にも寄与できる内容であったと考えられる。

以上

## 今後の展開

- ・この場所でのウォーキングフットボール等のイベントの継続開催は必要不可欠であり、同時に防災を意識させる様な競技の考案、開催を行う。
- ・コロナ禍に於いて実現できなかった福祉施設見学会もイベントと同時に行ない、福祉施設をより身近に感じてもらうように「第三の居場所」として認知してもらう。
- ・今後、起こり得る災害に備え、今回の事業で「後援」という形でつながった行政と連携し災害に強い地域づくりを構築していく。
- ・今事業専用の当法人ホームページや当法人公式SNSを使用して、継続的に情報発信をしていく。